

# 会 議 記 録 簿

|     |                                                                                                                     |     |                 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------|
| 記 録 | 職・氏名 社会教育課(施策担当) 主任主事 中村 聖                                                                                          |     |                 |
| 件 名 | 令和３年度第３回恵庭市社会教育委員の会議                                                                                                |     |                 |
| 日 時 | 令和４年３月２５日(金) １５：４５～１７：１０                                                                                            | 会 場 | 市民会館(大会議室)      |
| 出席者 | <b>恵庭市社会教育委員</b><br>松田委員長、太田副委員長、三科、高橋、結城、塩野、井上、向井<br><b>市教委</b><br>竹内部長、渡部課長、桑原主査、佐々木主査、中村、大谷、村本、<br>黒氏課長[遅参]、高畑館長 | 人 数 | 委員 ８名<br>市教委 ９名 |

概

要

## １．開会

## ２．挨拶

恵庭市社会教育委員の会議

委員長 松田 一則

恵庭市教育委員会

教育部長 竹内 春実

## ３．議題

### (１)【報告事項】令和３年度社会教育事業報告

社会教育課→読書推進課→郷土資料館

(説明)

#### A委員

[(意見)P.3 えにわ大好き！食の体験ランド]

担当者が事前の準備をしっかりと行い、スムーズに取り進めていた。

[(意見)P.7 コミスクかふえ！～恵庭市のコミスク・地域をつなぐ会～]

C SからC・Sへの移行にあたり、どのようなアプローチを掛け、どこの世代が出席するのか関心があつたが、中止となり残念。

[(意見)P.13 かしわのもり事業全般]

中々施設の中に入ることは無いが、多様な活動を行っているのは良い。

[(質問)P.1 家庭教育支援事業]

コロナ以外の要因で参加者減となっているものがあれば教えていただきたい。

[(質問)P.5 長寿大学(大学・大学院)]

コロナが理由で在籍数が減となることは理解しているが、入学者が減となっている要因は何か。

社会教育課(桑原主査)

[(意向)P.3 えにわ大好き！食の体験ランド]

次年度もなるべく三者共催にて行いたい。

[(意向)P.7 コミスクかふえ！～恵庭市のコミスク・地域をつなぐ会～]

令和４年６月に延期したいと考えており、第１回は講師に全体的な流れを講演していただき、第２回以降は各学校や団体との繋がりを作るような意見交換やワークショップとしたい。

[(意向)P.13 かしわのもり事業全般]

令和４年度以降指定管理者制度が導入となる。４月以降新たな視点をもって事業展開できるものと期待している。

〔(回答)P.1 家庭教育支援事業〕

比較的若い世代へ情報が届きにくいものと考え、LINEやfacebook、市ホームページを活用するなど、少しずつ発信に工夫を加えている。家庭教育支援者の養成講座は幅広い世代や層の参加があったため、これをモデルに参加の推進を図りたい。

社会教育課(佐々木主査)

〔(回答)P.5 長寿大学(大学・大学院)〕

減少はコロナ禍が主な要因であるが、60歳代の在籍率が低くなっている傾向にあることから、現役として社会で活躍する年齢が延びてきていることが、入学率減の1つの要因ではないかと推測している。

A委員

〔(意見)P.3 えにわ大好き！食の体験ランド〕

現役世代として活躍する年齢が延びてきていると思うが、長寿大学を継続していくためにも、何か工夫が必要なのではないか。

社会教育課(佐々木主査)

〔(意向)P.5 長寿大学(大学・大学院)〕

長寿大学の在り方について、今一度検討を重ねていきたい。

B委員

〔(質問)P.11 文化交流講座〕

どういう年齢層が受講しているか。

社会教育課(村本)

〔(回答)P.11 文化交流講座〕

文化交流講座の講師がロシア語講座の講師ということもあり、ロシア語講座を受講している40歳代が多い。また、地元町内会の60～70歳も多く受講しており、印象としては男性が多い。

B委員

〔(意見)P.11 文化交流講座〕

子どもたちにも受講してもらいたい。また、モンゴルの物販をしている団体と繋がりがあるので、連携できればと思う。

(2)【協議事項】令和4年度恵庭市の社会教育(案)/令和4年度事業計画(案)

社会教育課→読書推進課→郷土資料館

(説明)

A委員

〔(質問)P.15～16 入館者の増に向けた取り組み〕

郷土資料館の予算額は前年と比べ減となっているものも見受けられる。他市ではダムカードを作成するなど、集客に趣向を凝らしているが、入館者の増に向けた取り組みは何か考えているか。

〔(質問)P.3～5 生涯学習基本計画の位置付け〕

生涯学習基本計画について、他市の状況を見ると、所管は市長部局の場合もあれば教育部局の場合もある。恵庭市は所管が教育部局となっているが、理由は何かあるのか。

郷土資料館(高畑館長)

〔(回答)P.15～16 入館者の増に向けた取り組み〕

昨年の北海道主催「北の縄分のイベント」の際、恵庭市も郷土資料館のカードを作成し、在庫もあることから今年度入館している方等へ配布している。

また、世界文化遺産に千歳市の「キウス周提墓」が登録されているが、恵庭市についても価値の高い遺物が出土していることから、旅行代理店よりツアーとして組み込みたいとの申し込みも多く受けている。今後も入館者の増に向け、PRを続けていきたい。

#### A 委員

##### 〔(意見)P.15～16 入館者の増に向けた取り組み〕

千歳市の縄文土器について、観光客が7,000人程見に来ている。恵庭市にも縄文土器はあるが、観光客は200人程度であり、観光客に知ってもらう機会を増やして欲しい。

社会教育課(渡部課長)

##### 〔(回答)P.3～5 生涯学習基本計画の位置付け〕

生涯学習の位置付けは市によって様々なかもしれない。当市については、恵庭市総合計画に位置付けられた個別計画の1つであり、恵庭市教育大綱の枠組みの中で、生涯学習の観点から総合計画を推進するもの。また、事業評価を通して、市長部局の事業や個別計画との連携を図る側面もある。

#### A 委員

##### 〔(質問)P.3～5 生涯学習基本計画の位置付け〕

所管を市長部局または教育部局とする場合で、市によってメリットやデメリットがあるから分かれているのか。また、自治体の考えにより異なるのか、根本的な何かがあるのかを知りたい。

社会教育課(渡部課長)

##### 〔(回答)P.3～5 生涯学習基本計画の位置付け〕

所管部局によりメリットやデメリットがあるものとは考えていない。恵庭市の場合は、教育長が教育全般の統括を行い、市長と連携をすることで、市全体の取り組みとしている。

#### C 委員

##### 〔(助言)P.3～5 生涯学習基本計画の位置付け〕

都道府県の場合は、生涯学習推進体制は知事が本部長となることが制度の中で決まっており、それに係る推進計画は知事所管で作られていくこととなる。

一方、市町村の場合は、都道府県の生涯学習推進構想に基づいて実施する「実施主体」であり、計画を策定する場合に2つの考え方がある。

1つ目は「協力体としての具体化」、2つ目は「市町村の創意工夫による具体化」である。2つ目について、北海道は珍しい体系をとっており、生涯学習構想において「市町村の創意工夫により実施する」ことが明記されている。市町村がより効果的な計画とするためにどう計画作るのが(都道府県の実施体制に準拠し市長部局、またはまちづくりの観点を踏まえつつ教育委員会)、ある程度委ねられている。

## (2)【協議事項】令和4年度恵庭市の社会教育(案)/令和4年度社会教育関係補助金(案)

社会教育課(桑原主査)

(一括説明)

## (3)【情報提供】令和4年度恵庭市の社会教育(案)/令和4年度社会教育関係予算

社会教育課(桑原主査)

(一括説明)

## 4. その他

社会教育課(桑原主査)

社会教育委員の公募について、今回応募が無かった。委員長・副委員長と協議し、成人年齢の引き下げ等を背景に、対象年齢を引き下げて再公募したい。尚、18～25歳の青少年層に的を絞り、市ホームページにて行うこととしたい。

社会教育委員

(了承)

## 5. 閉会

